

第7章 その他の債権・債務

学習の要点

1. 他人の債務を保証したときは、将来、債務者がその債務の履行をしなかった場合は、代わって支払をおこなわなければなりません。つまり偶発債務を負うこととなります。

債務保証見返 ××× 保証債務 ×××

2. 火災・盗難などの場合、金銭の収支をともなわずに発生した債権・債務の金額が未確定のときは、一時的に未決算勘定に記入しておき、その処理が決定したときに該当の勘定に振り替えます。

メモ

● 演習コーナー ●

問題20 ● [債務の保証]

1. 次の取引を仕訳しましょう。

- (1) 当店は、岐阜商会の借入金¥1,000,000および、津商事の借入金¥500,000の保証をした。
- (2) 岐阜商会より借入金を返済した旨通知があった。
- (3) 津商事が借入金につき返済不能となったため当店は延滞利息¥5,000とともに小切手を振出して支払った。

(1)		
(2)		
(3)		

● メモ ●

● 演習コーナー ●

問題21 ● [未決算]

1. 次の取引を仕訳しましょう。

(1) 火災により、次の資産が焼失した。

	〈原 価〉	〈減価償却累計額〉
商 品	¥100,000	—
備 品	¥500,000	¥100,000
建 物	¥170,000	¥ 70,000

なお、焼失した資産に¥800,000の火災保険が掛けてあったので、保険会社へ保険金の支払いを請求した。

(2) 保険会社より¥800,000の火災保険金額を支払う旨の通知があった。

(3) 上記金額が当座預金に振り込まれた。

(1)		
(2)		
(3)		

2. 次の一連の取引について仕訳しなさい。

(1) 盛岡商店より商品¥300,000を仕入れ、貨物引換証を入手していたが、運送中に盗難になった。この商品には¥200,000の保険が掛けられていたので、保険会社へ請求した。

(2) 上記保険¥200,000金額を支払う旨の通知があった。

(3) 保険会社より¥200,000の小切手を受け取った。

(1)		
(2)		
(3)		

問題21の1の正解

(1)	備品減価償却累計額	100,000	仕	入	100,000
	建物減価償却累計額	70,000	備	品	500,000
	未決算	600,000	建	物	170,000
(2)	未収金	800,000	未	決算	600,000
			保	險差益	200,000
(3)	当座預金	800,000	未	収金	800,000

問題21の2の正解

(1)	未決算	200,000	未	着品	300,000
	盗難損失	100,000			
(2)	未収金	200,000	未	決算	200,000
(3)	現金	20,000	未	収金	200,000